

県産材の活用を目指して

山梨県木材製品流通センター協同組合（戸栗敏理事長、組合員23社）は、9月7日に県立甲府城西高校の「リビングデザイン」履修者27名の視察を受け入れ、木造住宅の特徴やプレカット加工の流れ、現場への搬入と上棟まで行っている組合の事業の説明を行った。

この取り組みは高校側からの要請により実現し



施設見学を行う甲府城西高校生徒

たもので、組合では履修者の中から将来ハウスメーカーが誕生し、豊富な山梨県の木材を活用した住まいのデザ

インに活かされるようになればと期待している。

組合は、平成10年に県産木材の需要拡大のために、県産木材の生産―加工―流通―消費にかかわる各分野が連携し県産材利用のトータルシステムを構築することを目的に設立され、本県の住環境に適したプレカット木材の提供を行っている。

プレカット工場の責任者である戸栗哲也理事は「県内の建設業者や住宅を建てたい方から支持され続けるためにはどうすれば良いか常に考えている。これまでも、建築主の希望に応じて、使用する木材やプレカット加工の工程を見せるなどの消費者向けの取り組みを行ってきた。また、毎年、甲府工業高校や若草中学校から短期のインターンシップや職場見学会の受け入れも行ってきた。若い世代に県産材利用の重要性を知ってもらい、将来の木材関連業界の担い手づくりや職業意識の

醸成のために、さらにインターンシップや職場体験の受け入れを積極的に進めていきたい。」と語る。

組合では、県産材の多面的な活用を目指して、リフォーム相談、駐輪場サイズの庇（ひさし）、外構フェンス、木製テーブルの作成などオーダーメイドの木製品の製造も受けている他、近年注目が高まっている薪ストーブやペレットストーブの紹介、燃料となる薪やペレットの販売も行っている。また、一般利用が可能な研修施設もある。

◆詳しくは、山梨県木材製品流通センター(協)

☎055-284-8888 まで



オーダーメイドの庇・フェンス例